

効果的なRFP作成による システムソリューション調達の進め方

研修の目的	<p>ユーザー企業がシステム導入を計画する場合、システム導入の目的、業務要件・システム化要件を明確にし、それをRFPという文書にまとめ、ベンダーから提案を受けるプロセスをとります。要件定義、RFPの作成、入手した提案書の評価が重要で、システム導入の成否が決まるといっても過言ではありません。</p> <p>本研修は、システムの調達に関する一連のプロセス、要件定義、RFP作成、提案評価基準作成、RFP発行、提案評価のポイントについて、事例演習を交えて修得することを目的とします。</p>
研修の特徴	講義とグループ演習(ケーススタディ)を組み合わせた研修で、実践的知識を身につけていただきます。
研修の期間	標準コース 2日間12時間
研修カリキュラム	<ol style="list-style-type: none"> 1. 調達プロセス <ol style="list-style-type: none"> (1) システムソリューション調達のプロセス 2. システム化要件定義 <ol style="list-style-type: none"> (1) システム化要件の明確化 (2) DFDの作成 3. ケーススタディ 1: システム化要件定義とDFD作成 4. RFPの作成と提案評価基準の設定 <ol style="list-style-type: none"> (1) RFPの作成内容と作成手順 (2) 提案評価基準の設定 5. ケーススタディ 2: RFPの作成と提案評価基準の設定 6. 提案書の評価と調達の決定 <ol style="list-style-type: none"> (1) 提案書の評価の流れ (2) 提案書の評価の方法 7. ケーススタディ 3: 提案書の評価 8. 調達先との連携によるソリューションの実現 <ol style="list-style-type: none"> (1) システム化実行計画書の作成 (2) 調達先に対する適切な管理
研修の対象者	ユーザー企業のCIO、システム企画担当、ITCを含めてシステムソリューション調達に関心のある方
研修講師	<p>小野修一 ITマネジメント・サポート協同組合理事 (有)ビジネス情報コンサルティング 代表取締役</p> <p>大手ITベンダー出身、専門は業務改革・IT戦略・IT調達・IT投資対効果評価・内部統制・情報リスクマネジメントなどのコンサルティング、およびシステム監査・情報セキュリティ監査など 中小企業診断士、公認システム監査人、ITコーディネータ</p>